

【月刊HMレポート：Vol.233】 2021年2月号

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

このレポートは経営者および経営幹部の皆様のために作成されています！



働き方の規制と感染症禍の両面対応の中で

業務変更を現場に徹底する時のベース形成法

◇◆◇ 業務上の変革は“証拠”重視で進めやすくなる ◇◆◇

◆本レポートの内容◆

- | | |
|---------------------------|--------|
| 【1】 自社業務改革と顧客満足の両立を狙ったのに… | …… 1 頁 |
| 【2】 顧客や取引先との接点に生まれる行き違いの元 | …… 2 頁 |
| 【3】 想像も付かない場面で起こり得る不都合の実態 | …… 3 頁 |
| 【4】 変化に適切に対応したはずなのに混乱が発生？ | …… 4 頁 |
| 【5】 混乱が懸念される時“まず”取り組むべきこと | …… 5 頁 |

じわじわと効いて来る“有給休暇取得義務”や“労働時間上限規制”に、コロナ禍が加わって、様々な業務の“内容変更”が、当たり前のように求められる環境になって来ています。

しかし変化は、それがどんなに“適切”でも、混乱やトラブルの元になり得ます。社内外で十分に合意されたはずのことでも、後になってクレームや不満の材料にされることさえあるのです。なぜ、そうなるのでしょうか。そして、どんな対処が求められるのでしょうか。事例を追ってみました。



金子経営労務管理事務所

TEL：04-2944-3895

FAX：04-2944-3627

Mail：info@office-kaneko.net

URL：<http://www.office-kaneko.net>

SRヒューマン・マネジメント研究会

私どもでは、人材や組織管理に関わる業務を通じて、広く皆様方のマネジメントをご支援いたしております。そうした活動から得た様々な考え方等を、当事者の皆様にご了解を頂いた上で、事例としてご提供しています。